

## 米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014

### アカデミー賞短編部門選考対象作品を選出する「オフィシャルコンペティション」と 地球環境問題をテーマとした「地球を救え！部門」 各審査員決定のお知らせ

米国アカデミー賞公認・日本発、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014 (SSFF & ASIA 2014)」の「オフィシャルコンペティション」と、地球環境問題をテーマにした「地球を救え！部門」の審査員が決定したことをお知らせいたします。

インターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の3部門からなる「オフィシャルコンペティション」の公式審査員の5名は、石坂浩二氏(俳優)、北村龍平氏(映画監督)、高梨 臨氏(女優)、湊 かなえ氏(小説家)、ローレンス・レイモンド氏(カンヌ映画祭 監督週間プログラマー)。同審査員は、3部門より1作品ずつ優秀賞を選出し、その優秀賞3作品の中から、グランプリとなる1作品を選出していただきます。グランプリを受賞した作品は、次年度(2015年度)の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品になることが決定しています。優秀賞、グランプリの発表は、6月9日(月)に AiiA Theater Tokyoにて開催されるアワードセレモニーにて行われます。

また、「地球を救え！部門」の審査員3名は、安藤美姫氏(フィギュアスケーター)、大杉隼平氏(写真家)、品川ヒロシ氏(芸人/映画監督)。本部門の審査員3名は、5月29日(木)に渋谷ヒカリエホールにて開催されるオープニングセレモニーに登壇し、優秀賞(環境大臣賞)1作品を発表いたします。

※6月9日(月)に開催されるアワードセレモニーのご案内状は別途お送りさせていただきますのでご多忙とは存じますが、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

#### オフィシャルコンペティション 公式審査員 ※五十音順、敬称略 (6月9日(月)のアワードセレモニーにご登壇致します)



石坂浩二  
(俳優)



北村龍平  
(映画監督)



高梨 臨  
(女優)



湊 かなえ  
(小説家)



ローレンス・レイモンド  
(カンヌ映画祭監督週間プログラマー)

#### 地球を救え！部門 審査員 ※五十音順、敬称略 (5月29日(木)のオープニングセレモニーにご登壇致します)



安藤美姫  
(フィギュアスケーター)



大杉隼平  
(写真家)



品川ヒロシ  
(芸人 / 映画監督)

<メディアからのお問い合わせ>  
広報事務局(共同ピーアール株式会社内)  
中里・吉田・横山  
TEL: 03-3571-5238 FAX: 03-3571-5380  
E-mail: keisuke.nakazato@kyodo-pr.co.jp

<一般の方からのお問い合わせ>  
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局  
TEL: 03-5474-8844 FAX: 03-5474-8202  
E-mail: press@shortshorts.org

## オフィシャルコンペティション 公式審査員 プロフィール



### 石坂浩二(俳優)

慶應大学在学中の1962年にテレビドラマ「七人の刑事」でデビュー、卒業後劇団四季に入団。NHK大河ドラマ「草も燃える」「元禄太平記」などテレビドラマで人気を経て1976年『犬神家の一族』の金田一耕助役に主演、以後市川崑監督でシリーズ化され原作ファンにも絶大な支持を受ける。市川崑監督作品には『細雪』『おはん』『ビルマの堅琴』『忠臣蔵 四十七人の刺客』など多数出演。作家、司会者、クイズ番組の解答者としても活躍。2009年NHK放送文化賞を受賞。2010年橋田壽賀子賞を受賞。



### 北村龍平(映画監督)

17歳でオーストラリアへ渡り、スクール・オブ・ビジュアル・アーツ映画科に入学。卒業制作の短編映画『EXIT-イグジット-』が高い評価を受け、年間最優秀監督賞を受賞する。帰国後、映画以外の職に就きながら1995年に映像集団ナパームフィルムズを結成、自主制作映画『DOWN TO HELL』が第1回インディーズムービー・フェスティバルでグランプリを受賞し、渡部篤郎主演で『ヒート・アフター・ダーク』を製作。2001年、ウルトラバイオレンスアクション『VERSUS』で長編デビュー。海外でも高い評価を受け、2003年に『あずみ』、『荒神』、『スカイハイ』、2004年に『ゴジラ・ファイナル・ウォーズ』そして2006年に『ラブデス』など話題作を立て続けに発表。2008年、ブラッドレイ・クーパー主演『ミッドナイト・ミート・トレイン』でハリウッド進出。以降、活動の拠点をロサンゼルスに移し、ハリウッド進出2作目となるルーク・エヴァンズ主演の『ノーワン・リヴズ』(2013)を発表。映画以外にも、コマーシャル、ミュージックビデオ、コミック原作なども手がける。最新作は、小栗旬主演『ルパン三世』(8月30日公開)



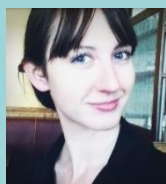
### 高梨 臨(女優)

1988年生まれ。2012年、第65回カンヌ映画祭コンペティション部門にノミネートされたイランの巨匠アッバス・キアロスタミ監督作の映画『ライク・サムワン・イン・ラブ』で主演に抜擢され、一躍脚光をあびる。また2014年にはサンダンス映画祭に正式出品されたモー・ブラザーズ監督作・ハリウッドで活躍しているギャレス・エヴァンス製作総指揮の日本・インドネシア合作「KILLERS」のヒロインを務め、世界12カ国で上映が決定されるなど、国内外問わず活躍の場を広げている。また現在連続テレビ小説「花子とアン」にレギュラー出演や今年メイン出演の映画が3本公開されるなど注目を集めている。



### 湊 かなえ(小説家)

1973年、広島県生まれ。2007年に「答えは、昼間の月」で第35回創作ラジオドラマ大賞、「聖職者」で第29回小説推理新人賞を受賞。08年に同作を収録した『告白』を刊行。09年に第6回本屋大賞受賞、10年に映画化され、累計300万部を超えるベストセラーとなる。12年に「望郷、海の星」(『望郷』に収録)で第65回日本推理作家協会賞短編部門を受賞。映画化された作品に『往復書簡』(「北のカナリアたち」(原案))『白ゆき姫殺人事件』、テレビドラマ化された作品に『贖罪』『夜行観覧車』『花の鎖』『境遇』『高校入試』(脚本も手がける)がある。他書に『少女』『Nのために』『サファイア』『母性』があり、最新作は『豆の上で眠る』。



### ローレンス・レイモンド(カンヌ映画祭監督週間プログラマー)

パリのいくつかの配給会社で務めた後、フリーの映画評論家として活動を始め、映画雑誌、インターネットにて評論を執筆。2011年に、フランスのブリーヴ市で行われた「ヨーロッパ中編映画祭」のプログラミング(作品選考)を担当した他、カンヌ映画祭と平行して開催される「監督週間」のショートフィルム部門選考メンバーとして迎えられる。現在は、引き続きカンヌ映画祭監督週間でのショートフィルム選考と、カナダのモントリオールで毎年開催される「ヌーヴォ映画祭」のプログラミング・コーディネーターとしても活躍中。

## 地球を救え！部門 審査員 ※五十音順、敬称略



### 安藤美姫(フィギュアスケーター)

愛知県名古屋出身。日本の元フィギュアスケート選手(女子シングル)。8歳でスケートを始める。2007年、2011年世界選手権優勝。2010年バンクーバーオリンピック5位。2002年のジュニアグランプリファイナルにおいて、ISU(国際スケート連盟)公式大会で女子選手として史上初の4回転ジャンプ(サルコウ)を成功させた。2004-2005シーズンから参戦したグランプリシリーズ(GPシリーズ)では、スケートアメリカ、NHK杯、中国杯の3戦に出場。また、フリーの冒頭では3回転ルッツ-3回転ループ-2回転トゥループという女子では最高難易度のコンビネーションを成功させ、1度のジャンプでの歴代最高得点を記録する。2010-2011シーズンでは、2度目の世界選手権優勝を果たした。世界選手権を複数回制したことは史上16人目。2013年12月で現役引退。



### 大杉隼平(写真家)

イギリスのロンドン芸術大学にて写真とアートを学ぶ。帰国後、写真家アシスタントを経て、株式会社ZACCOに所属。現在、雑誌、テレビ、広告、CDジャケット、カタログ等、特にポートレートを得意とし綿密な打ち合わせのうえ撮影する宣材写真のオフアームも多く、約200人の俳優タレント、アーティストの撮影を手がけている。その他の活動として「Leaves Work」を立ち上げ全国各地で写真展を開催。



### 品川ヒロシ(芸人/映画監督)

1972年生まれ、東京都出身。95年、庄司智春とコンビ「品川庄司」結成。自身の小説『ドロップ』(09年)『漫才ギャング』(11年)を脚本・監督し、映画監督としても高評価を得る。最新作は、藤原竜也主演『サンブンノイチ』(14年4月公開)。次回作として、哀川翔 芸能生活30周年を記念した主演映画の監督をつとめることが決定！2015年に全国で公開予定。

## 開催概要

- 名称: ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014
- 主催: ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
- 日程・会場  
 5月30日(金)～6月1日(日) 会場: 表参道ヒルズ スペース オー  
 6月3日(火)～6月8日(日) 会場: ラフォーレミュージアム原宿  
 5月30日(金)～6月15日(日) (横浜開催) 会場: ブリリア ショートショート シアター
- 東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。
- オフィシャルHP: <http://www.shortshorts.org/>

※上映の参加はオフィシャルサイトから事前に登録が可能です。  
 ※その他、映画祭内のラインナップ、イベント情報は順次ご案内していきます。

## ショートショートフィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催: 東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が「SSFF & ASIA」として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。



(写真、左から)

- ・1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて。SSFF & ASIA代表の別所哲也とジョージ・ルーカス監督
- ・2013年、15周年を迎えた映画祭のアワードセレモニーにて
- ・2008年にオープンしたショートフィルム専門映画館ブリリア ショートショート シアター

<メディアからのお問い合わせ>  
 広報事務局(共同ピーアール株式会社内)  
 中里・吉田・横山  
 TEL: 03-3571-5238 FAX: 03-3571-5380  
 E-mail: keisuke.nakazato@kyodo-pr.co.jp

<一般の方からのお問い合わせ>  
 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局  
 TEL: 03-5474-8844 FAX: 03-5474-8202  
 E-mail: press@shortshorts.org